

# 最近の経済動向

## 令和2年5月号

(北海道の景気動向～令和2年3月の経済指標を中心として)

**新型コロナウイルスの影響により、一段と厳しさが増している**

### ■生産動向

P1 生産活動(鉱工業生産指数)

弱い動きが続いている

### ■需要動向(消費・投資)

P2 個人消費(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店販売額、新車登録台数)

弱い動きが広がっている

P5 住宅建設(新設住宅着工戸数)

減少している

P6 公共工事(公共工事請負金額)

増加している

P7 観光(来道者数、来道外国人数)

急速に悪化し一段と厳しい状況となっている

P9 輸出入(輸出額、輸入額)

輸出額、輸入額とも前年を下回った

### ■企業倒産

P10 企業倒産(倒産件数、負債総額)

倒産件数、負債総額ともに増加した

### ■雇用動向

P12 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、月間有効求人倍率、完全失業率)

弱い動きがみられる

### ■物価動向

P14 物価(消費者物価指数)

消費者物価指数は前年を上回った

### ■企業の業況感

P15 企業経営者意識調査

前期から下降している

P16 企業のみなさまから伺いました

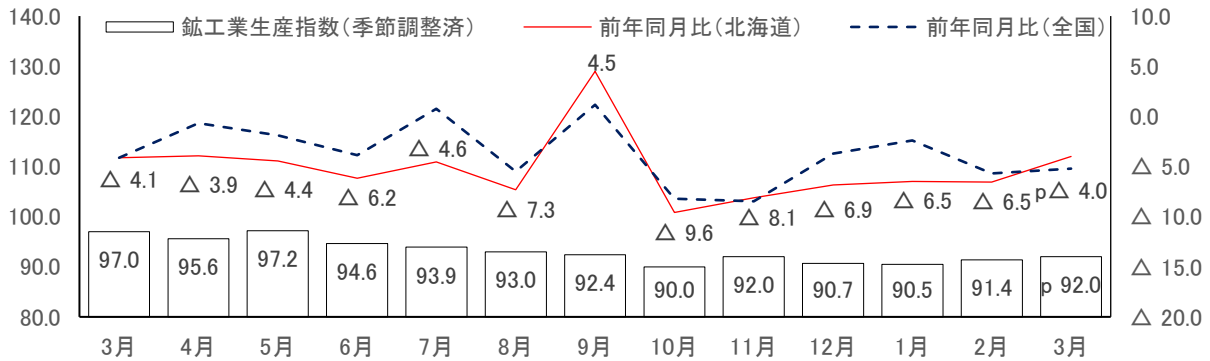
# 生産活動～弱い動きが続いている

## 鉱工業生産指数（3月）

鉱工業生産指数（季節調整済）は、92.0で前月比+0.7%（2か月連続の増加）であり、原指数による前年同月比は、△4.0%（6か月連続の低下）となった。業種別にみると、輸送機械工業等12業種が前月比低下、一般機械工業等3業種が前月比上昇となった

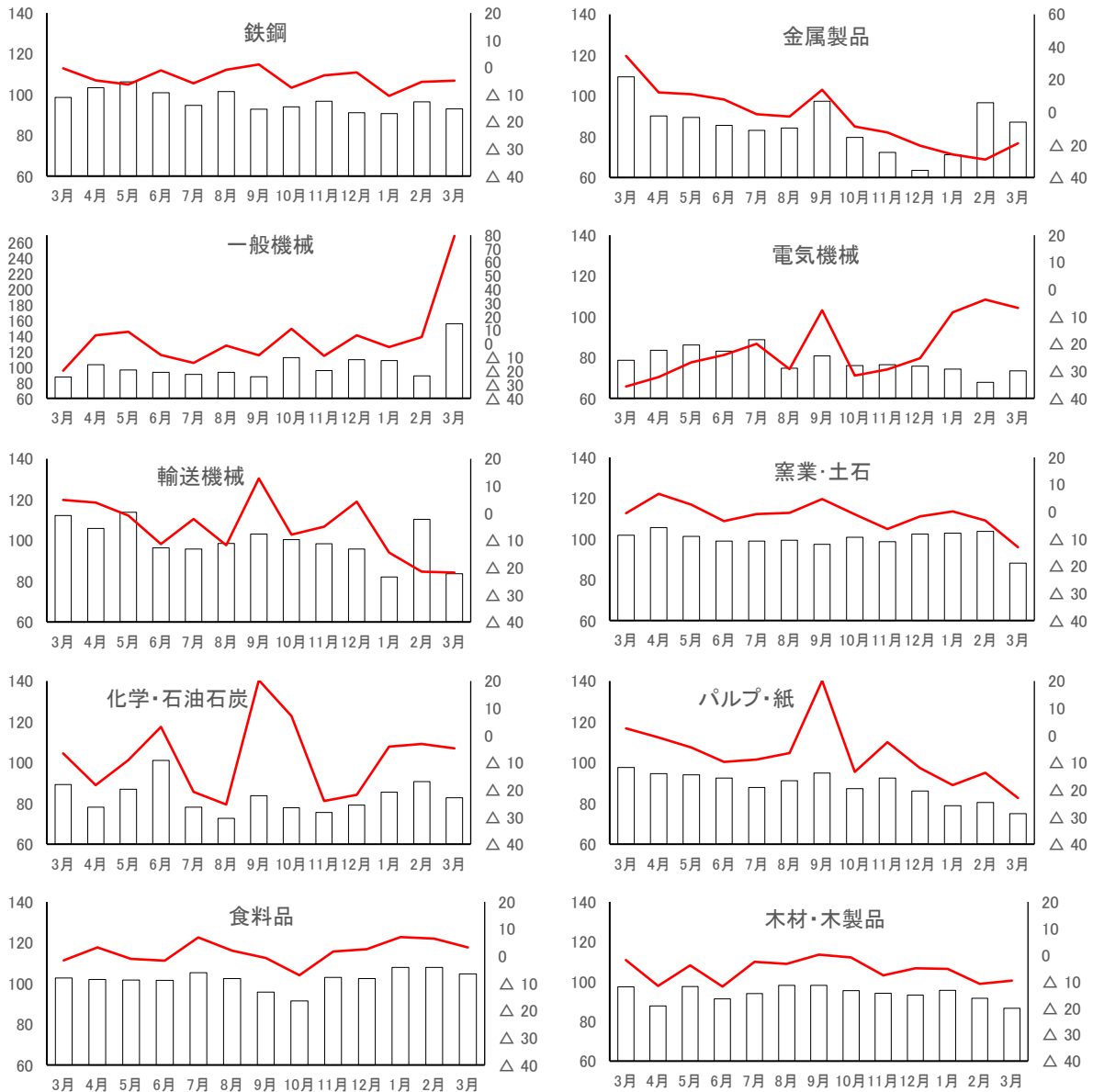
（季節調整済指数：平成27年＝100）

（原指数前年同月比：%）



### ■主な業種の季節調整済指数(右軸：原指数前年同月比%)

\*「p」は速報値

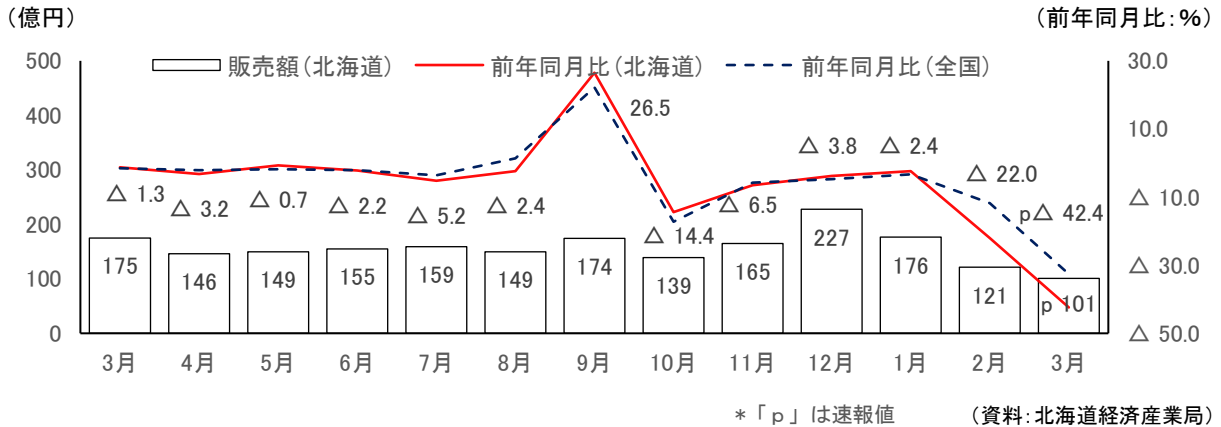


（資料：北海道経済産業局）

## ■個人消費～弱い動きが広がっている

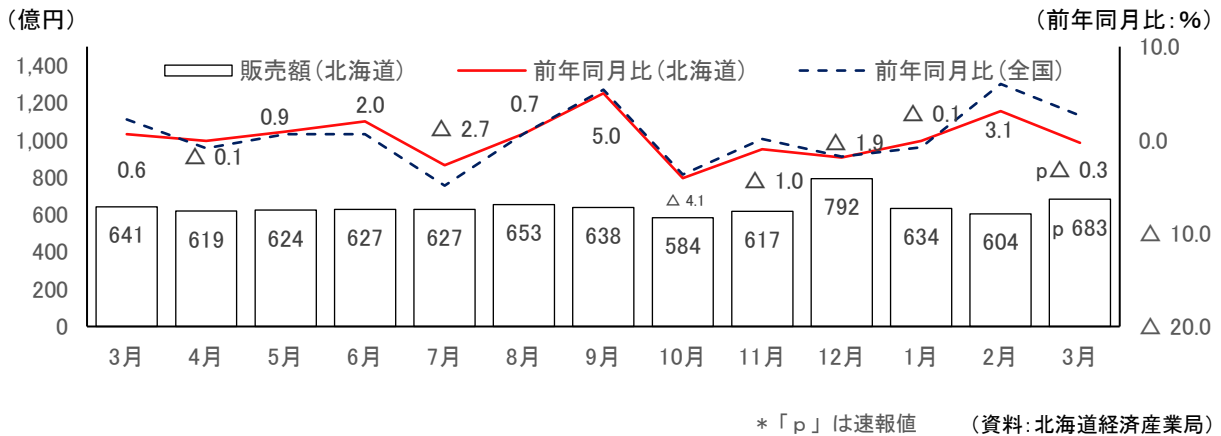
### 百貨店販売額（3月）

百貨店販売額は、101 億円で前年同月比 42.4%の減少となり、6 か月連続で前年を下回った。



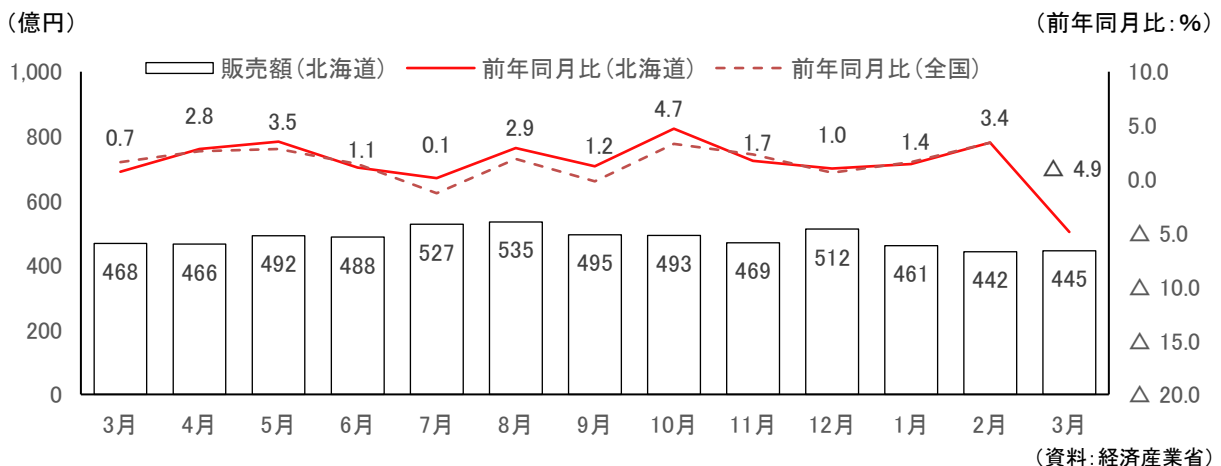
### スーパー販売額（3月）

スーパー販売額は、683 億円で前年同月比 0.3%の減少となり、2 か月ぶりに前年を下回った。



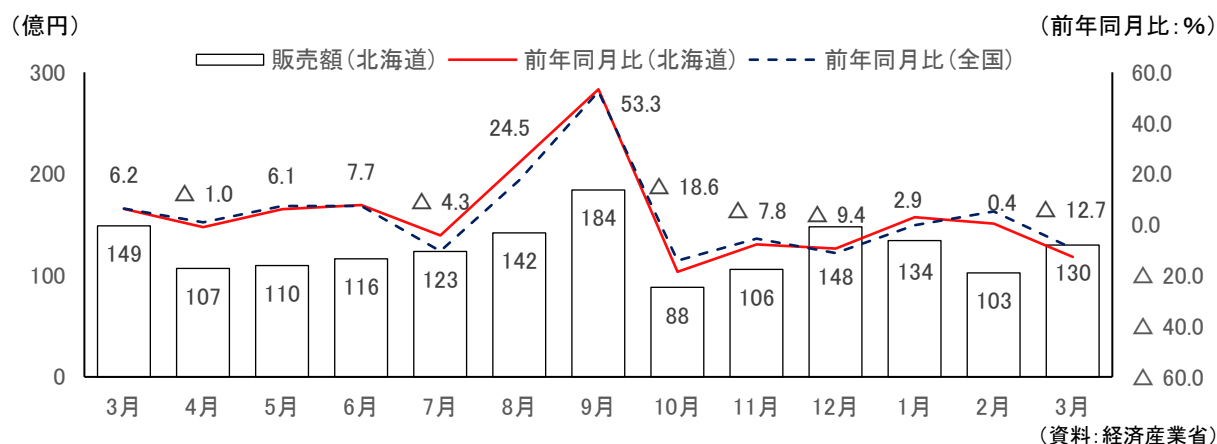
### コンビニエンスストア販売額（3月）

コンビニエンスストア販売額は、445 億円で前年同月比 4.9%の減少となり、17 か月ぶりに前年を下回った。



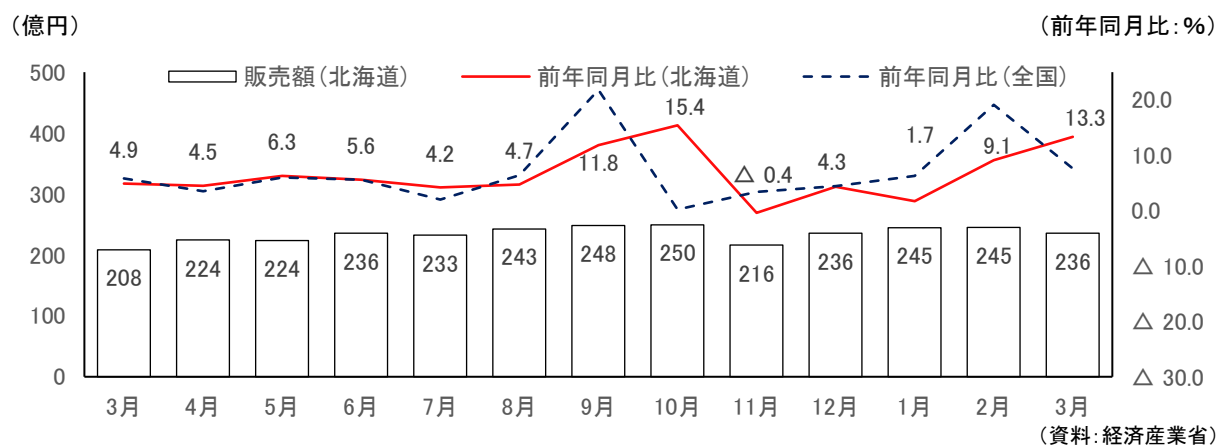
## 家電大型専門店販売額（3月）

家電大型専門店販売額は、130 億円で前年同月比 12.7%の減少となり、3 か月ぶりで前年を下回った。



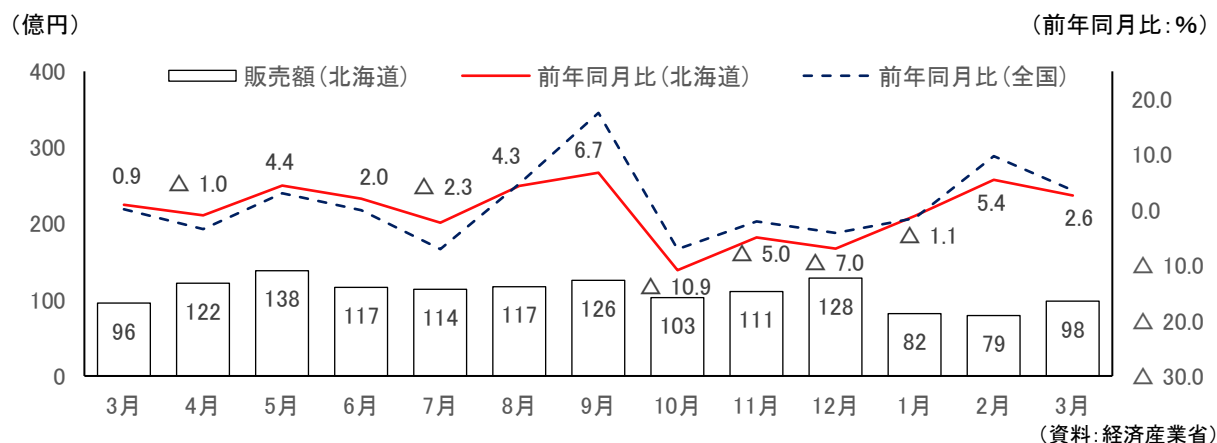
## ドラッグストア販売額（3月）

ドラッグストア販売額は、236 億円で前年同月比 13.3%の増加となり、4 か月連続で前年を上回った。



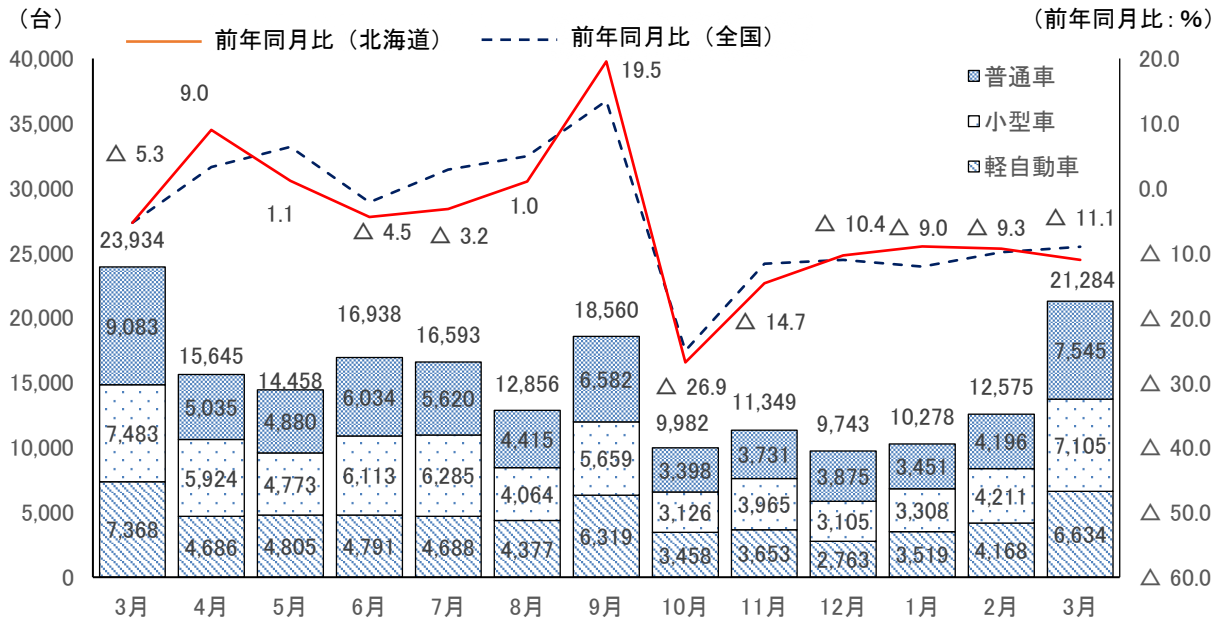
## ホームセンター販売額（3月）

ホームセンター販売額は、98 億円で前年同月比 2.6%の増加となり、2 か月連続で前年を上回った。

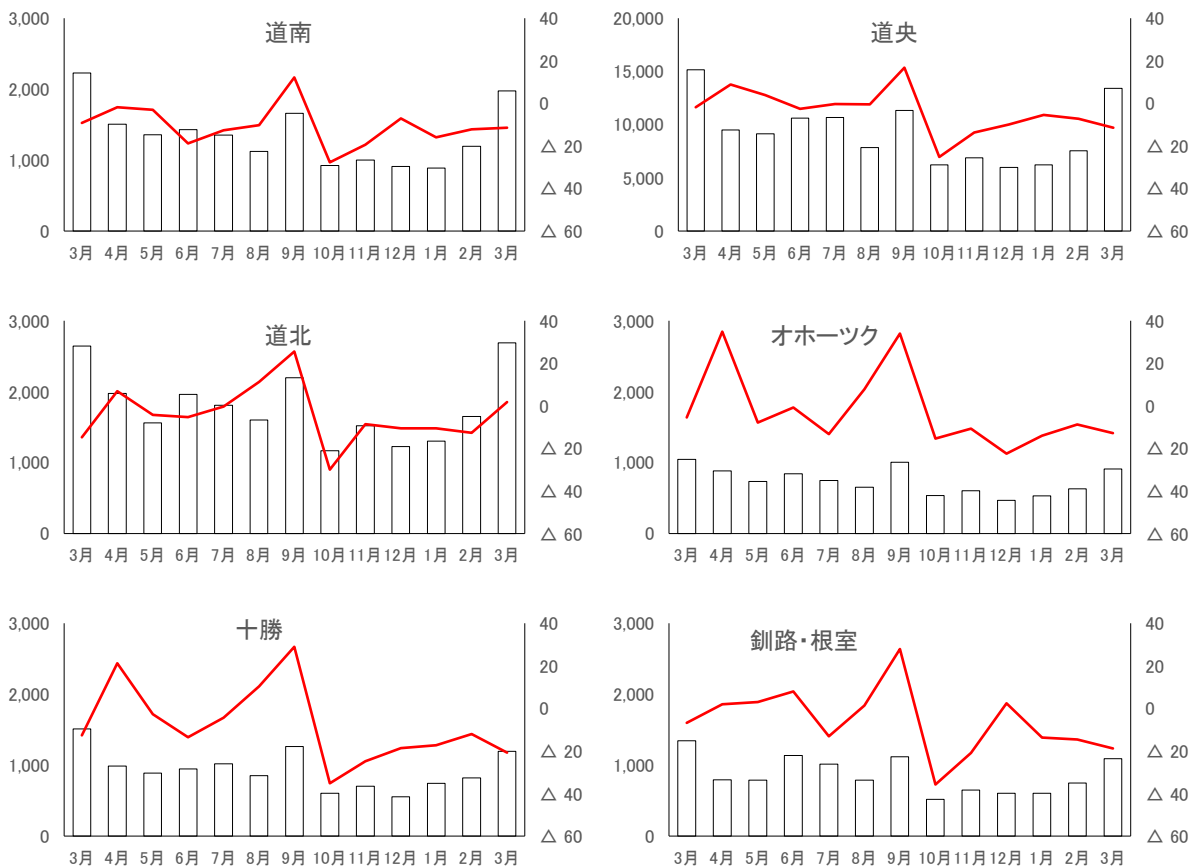


## 新車登録台数（3月）

新車登録台数は、21,284台で前年同月比11.1%の減少となり、6か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は、7,545台で前年同月比16.9%の減少、小型車は、同7,105台で5.1%の減少、軽自動車は、6,634台で同10.0%の減少となった。



### ■各圏域の新車登録台数（右軸：前年同月比%）



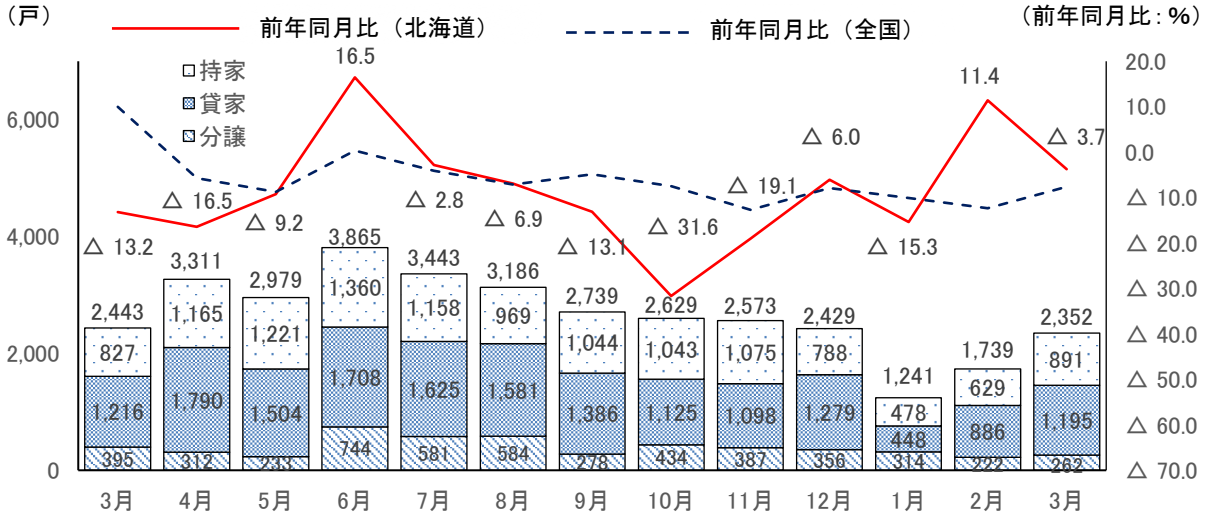
（資料：（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会）

# ■住宅建設～減少している

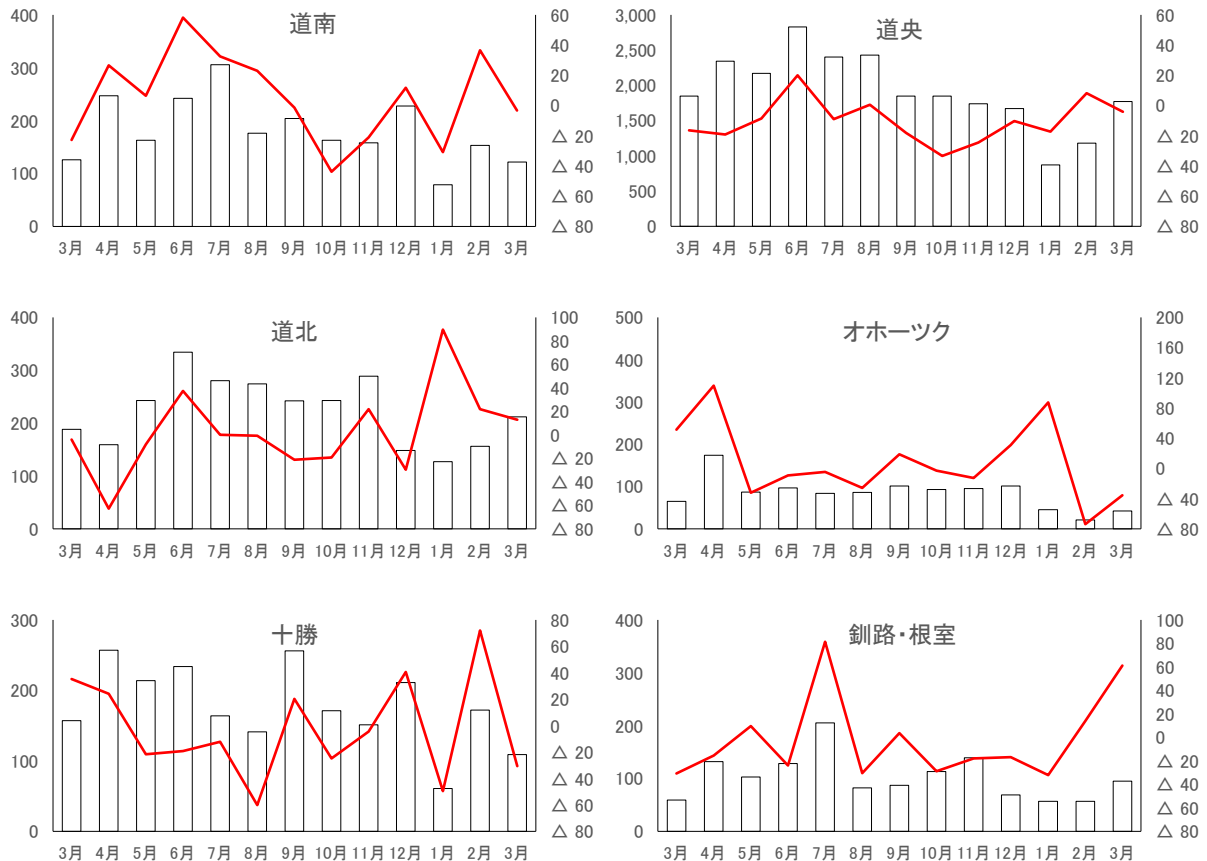
## 新設住宅着工戸数（3月）

住宅着工戸数は、2,352戸で前年同月比3.7%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。

利用関係別にみると、持家は、891戸で同7.7%の増加、貸家は、1,195戸で同1.7%の減少、分譲住宅は、262戸で同33.7%の減少となった。



## ■各圏域の新設住宅着工戸数（右軸：前年同月比%）

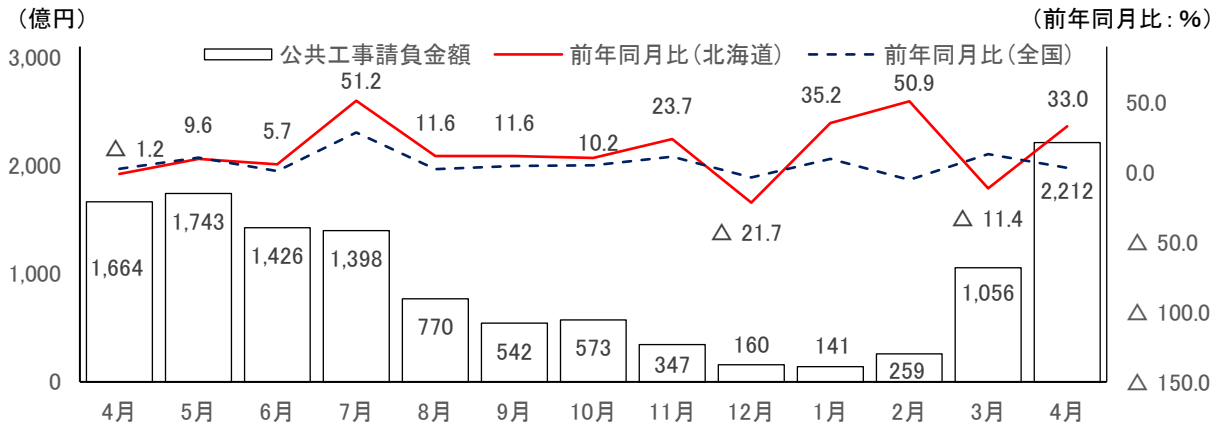


(資料:国土交通省)

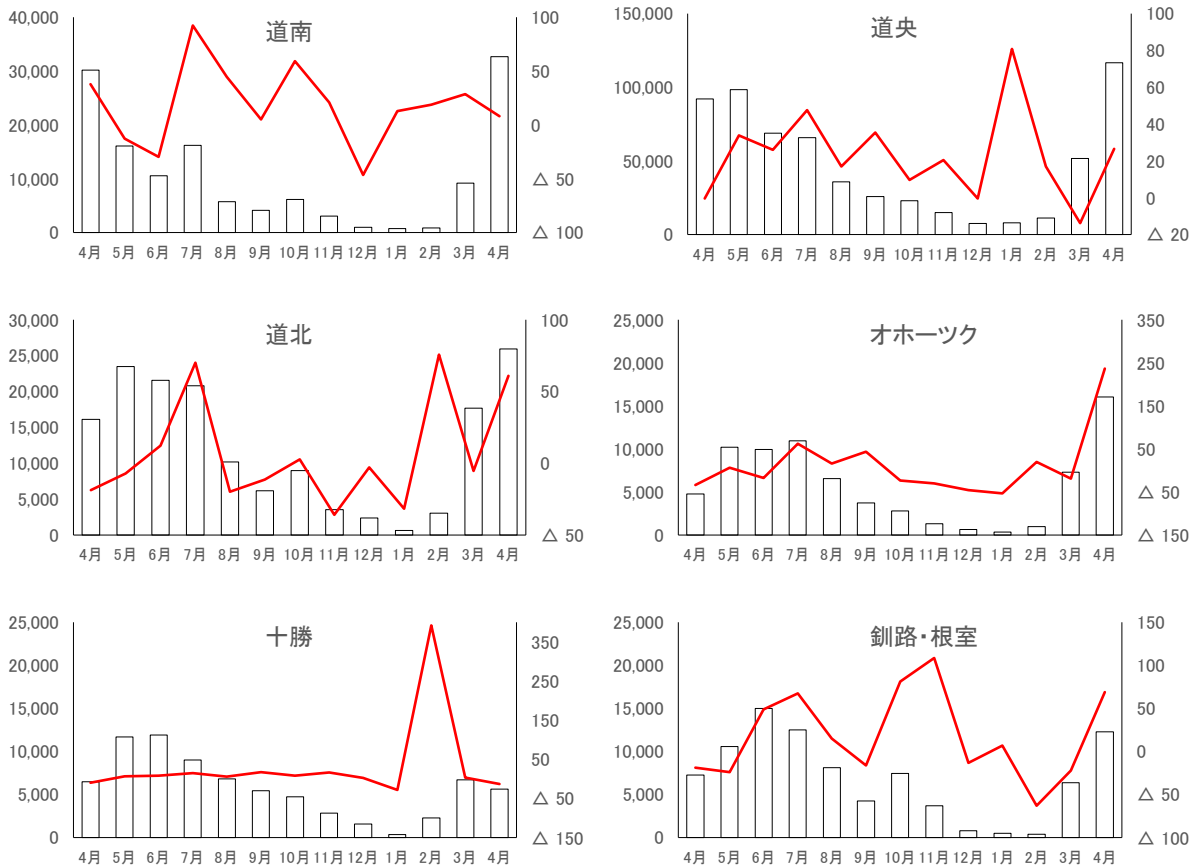
# ■公共工事～増加している

## 公共工事請負金額（4月）

請負金額は、2,212億円で前年同月比33.0%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。



## ■各圏域の公共工事請負金額（左軸：百万円、右軸：前年同月比%）

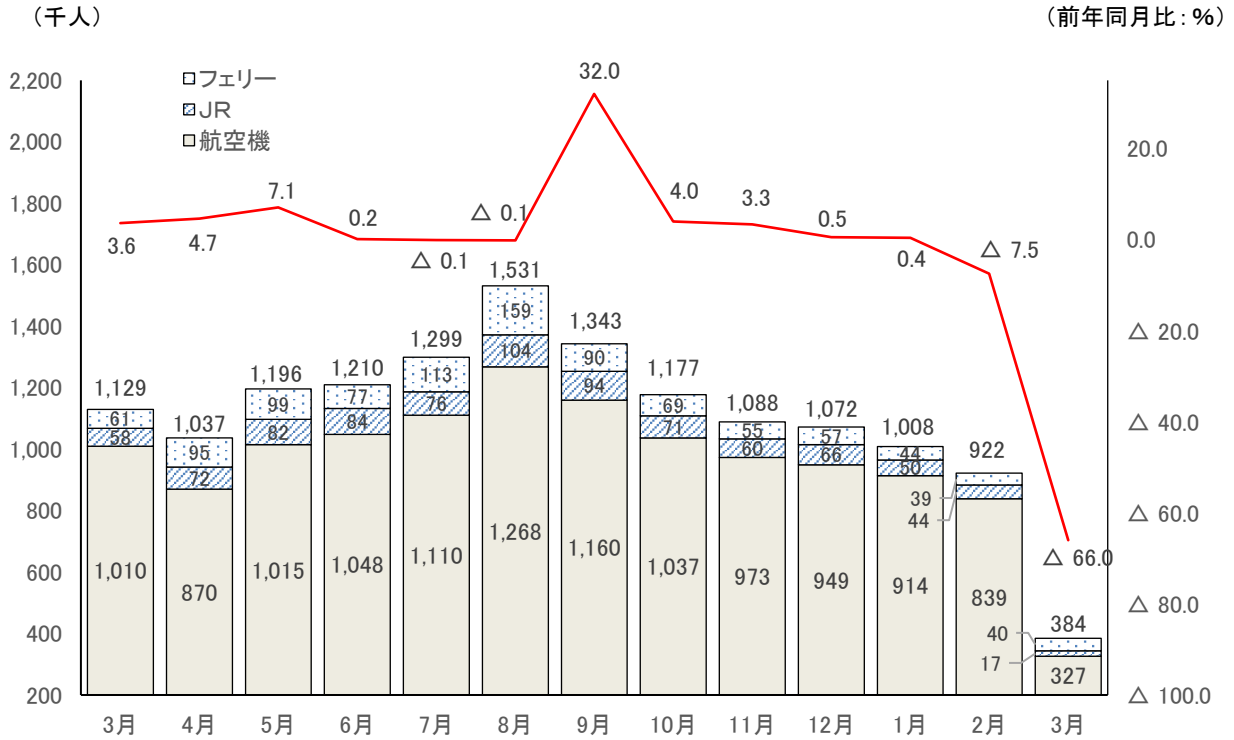


（資料：北海道建設業信用保証（株））

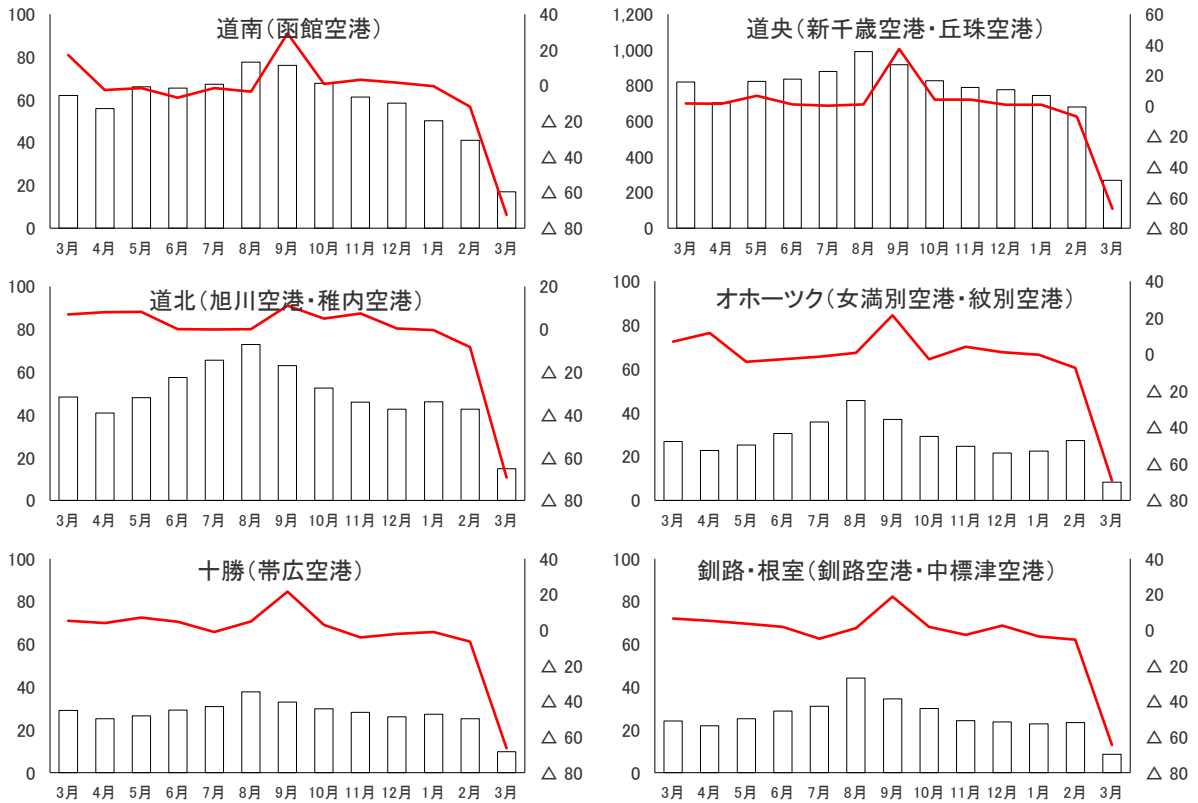
# ■観光～急速に悪化し一段と厳しい状況となっている

## 来道者数（3月）

来道者数は、38万4千人で前年同月比66.0%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。



## ■各圏域の航空機利用による来道者数（左軸：千人、右軸：前年同月比%）

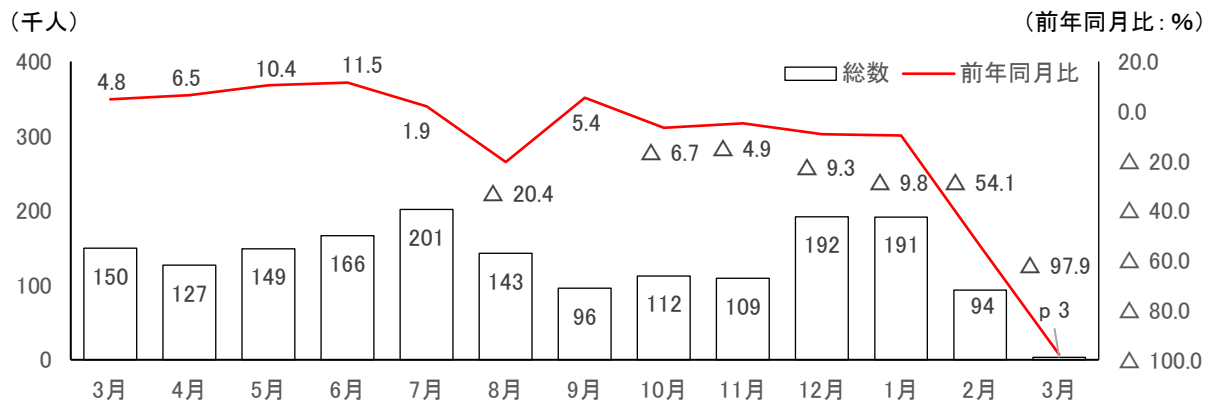


(資料：(公社)北海道観光振興機構)



## 来道外国人数（3月）

本道に直接入国した外国人は、3千人で前年同月比 97.9%の減少となり、6か月連続で前年を下回った。



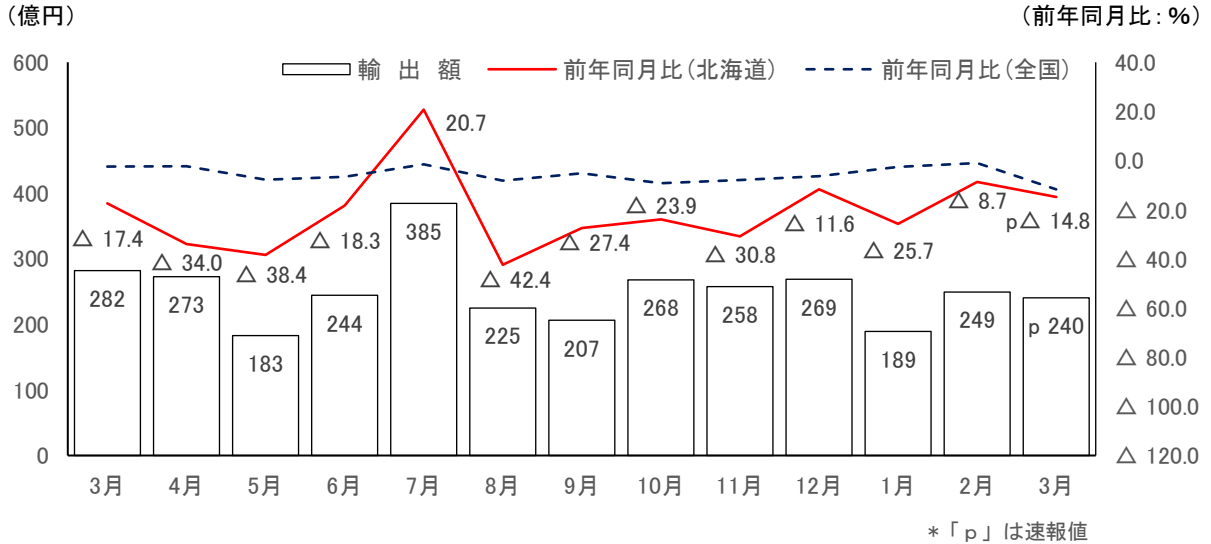
\*「p」は速報値

(資料:法務省入国管理局)

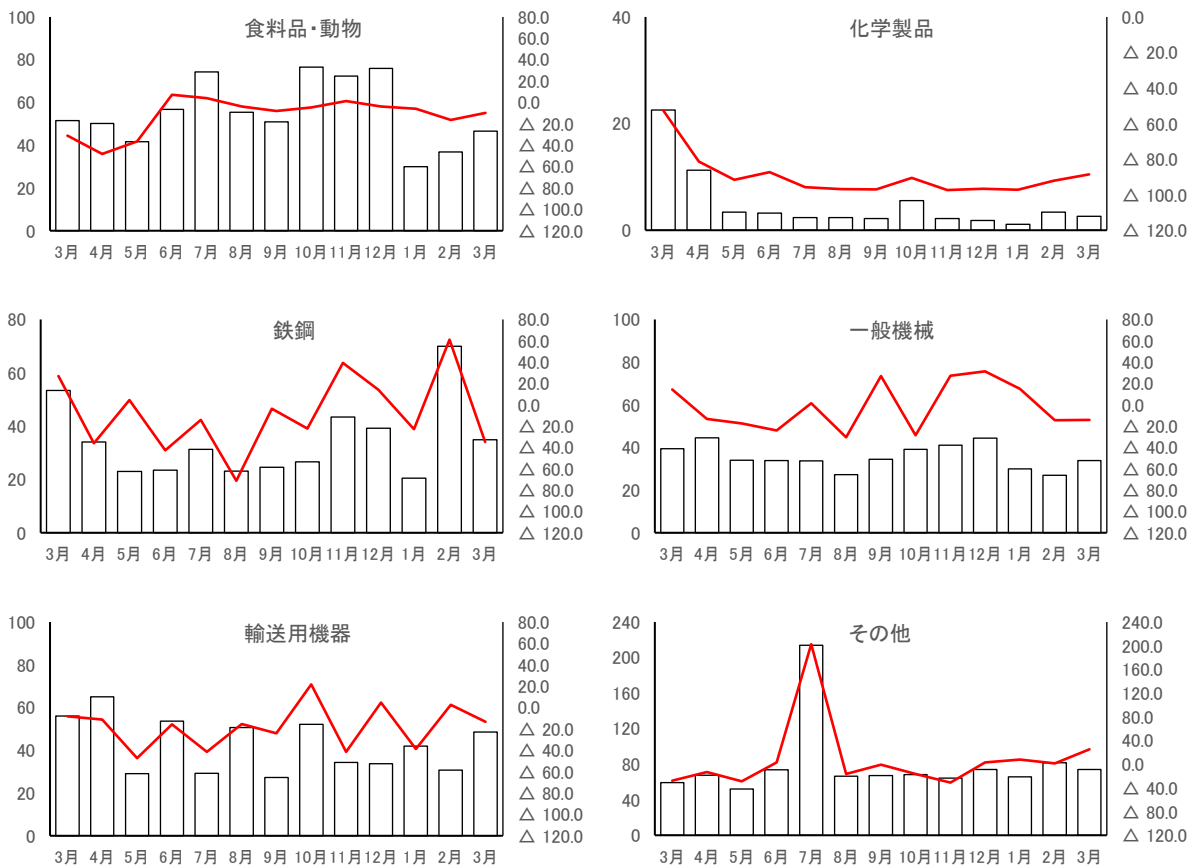
# ■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

## 輸出額（3月）

輸出額は、240 億円で前年同月比 14.8%の減少となり、8 か月連続で前年を下回った。品目別にみると、自動車の部分品、鉄鋼、鉱物性タール・粗製薬品などが減少した。



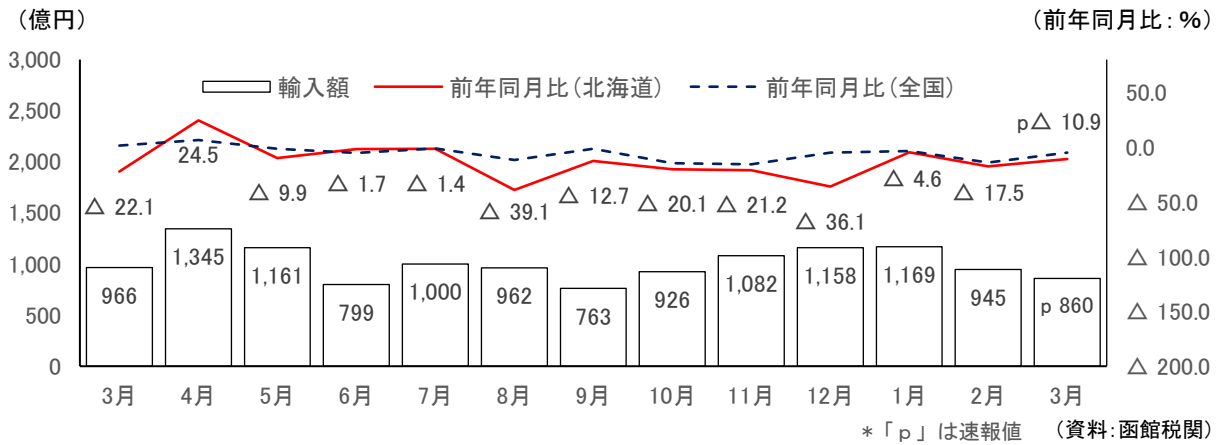
## ■種類別の輸出額（右軸：前年同月比%）



(資料: 函館税関)

## 輸入額（3月）

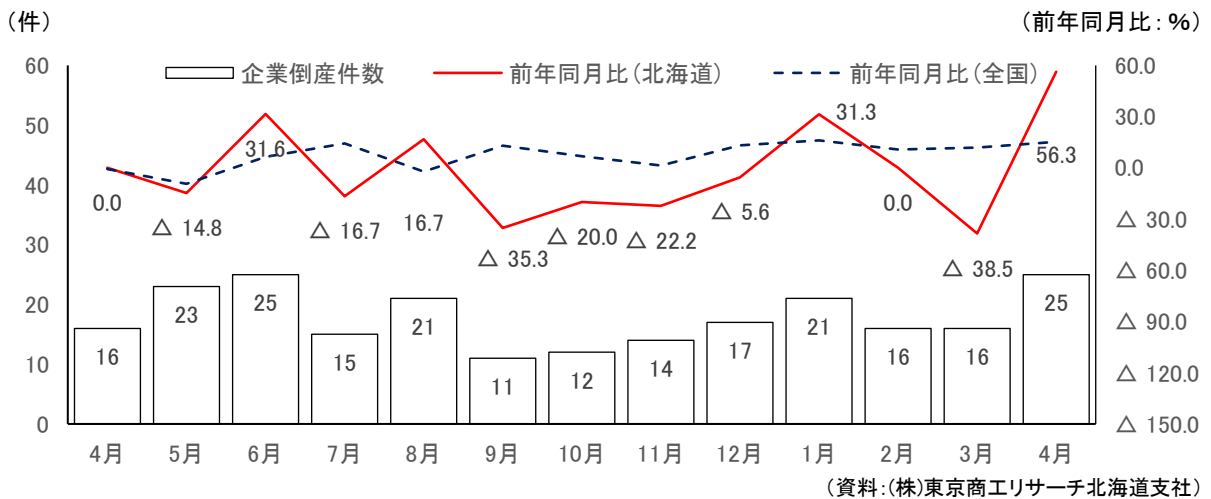
輸入額は、860億円で同10.9%の減少となり、11か月連続で前年を下回った。  
品目別にみると、電気機械、一般機械、再輸入品などが減少した。



## ■企業倒産～倒産件数、負債総額とも増加した

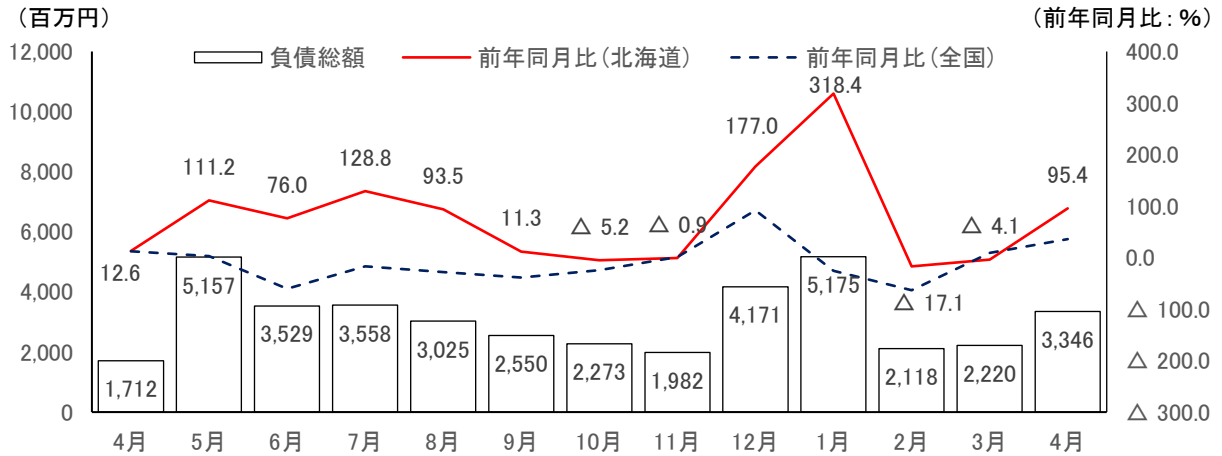
### 倒産件数（4月）

企業倒産件数は25件で前年同月比56.3%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。  
原因別でみると、販売不振が21件（構成比84.0%）と半数以上を占めた。  
業種別でみると、サービス業が8件（同32.0%）、建設業が6件（同24.0%）、小売業が4件（同16.0%）となった。

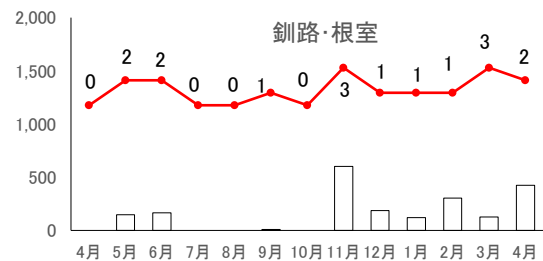
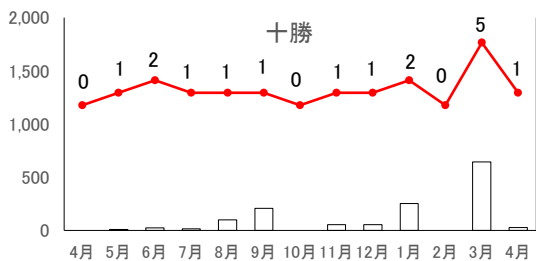
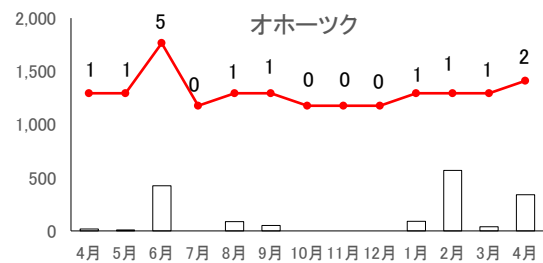
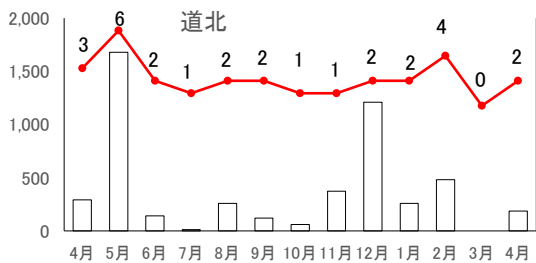
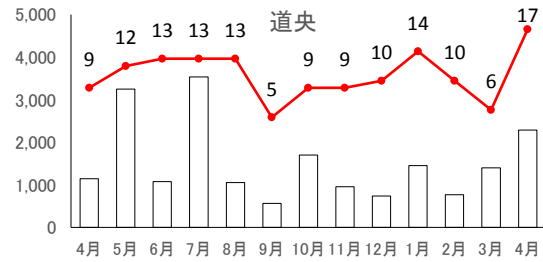
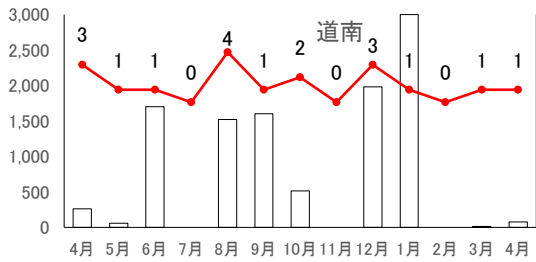


## 負債総額（4月）

負債総額は、33億46百万円で同95.4%の増加となり、3か月ぶりで前年を上回った。



### ■各圏域の負債総額と倒産件数（折れ線）

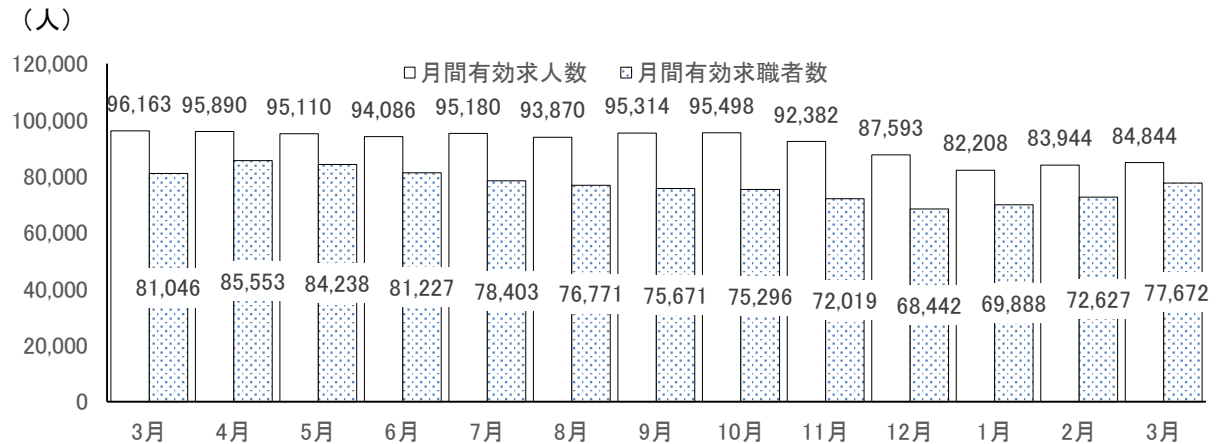


(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社)

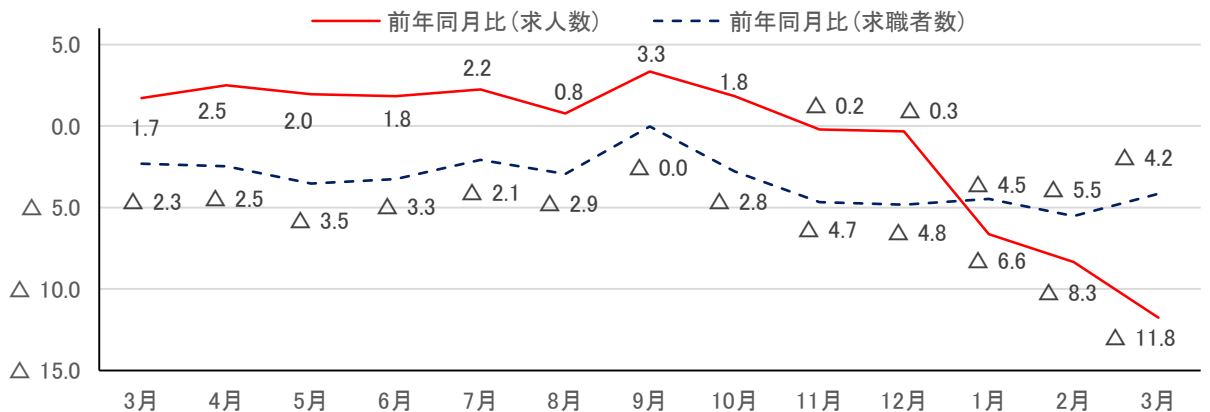
## ■求人・求職～弱い動きがみられる

### 月間有効求人数・求職者数（3月）

月間有効求人数は、8万4,844人で前年同月比11.8%の減少となり、5か月連続で前年を下回った。月間有効求職者数は、7万7,672人で同4.2%の減少となり、101か月連続で前年を下回った。



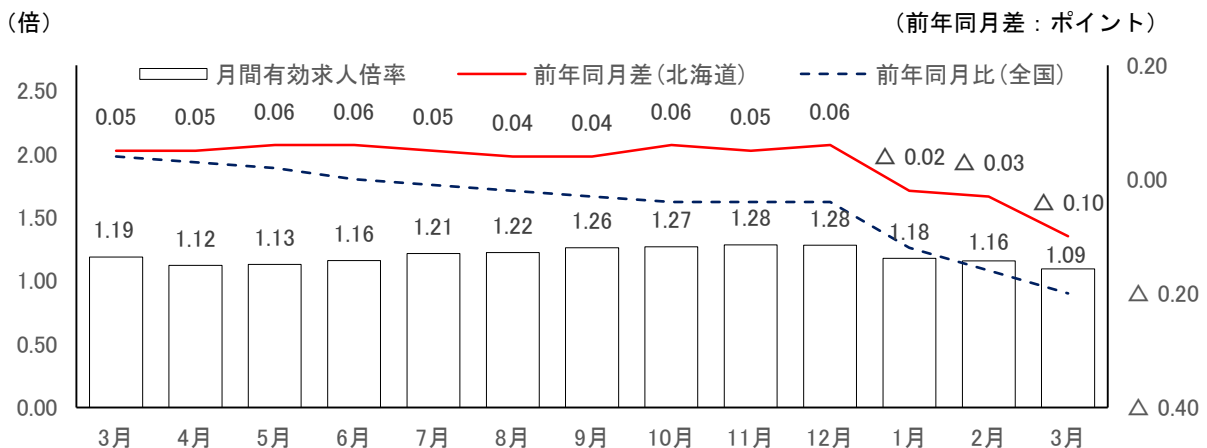
(前年同月比：%)



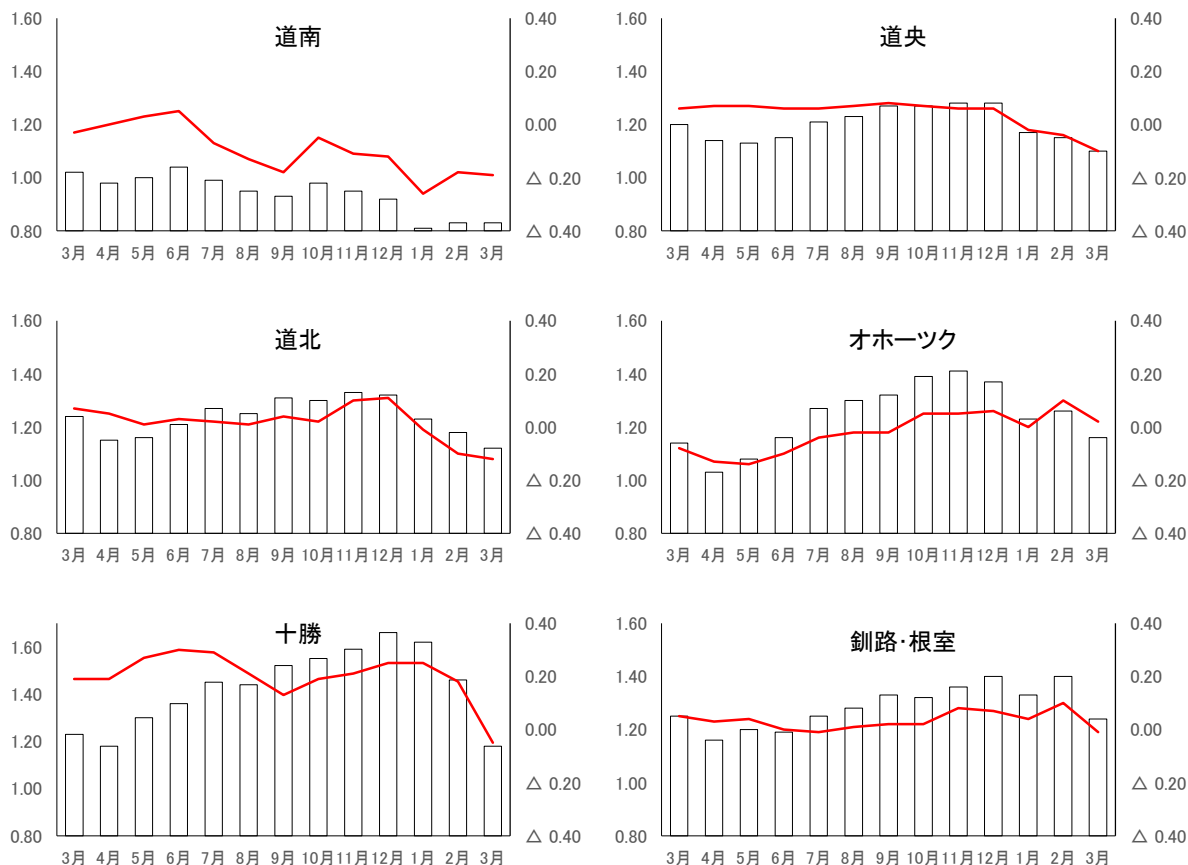
(資料：北海道労働局)

### 月間有効求人倍率（3月）

有効求人倍率は1.09倍で、前年同月差で0.10ポイントの減少となり、3か月連続で前年を下回った。



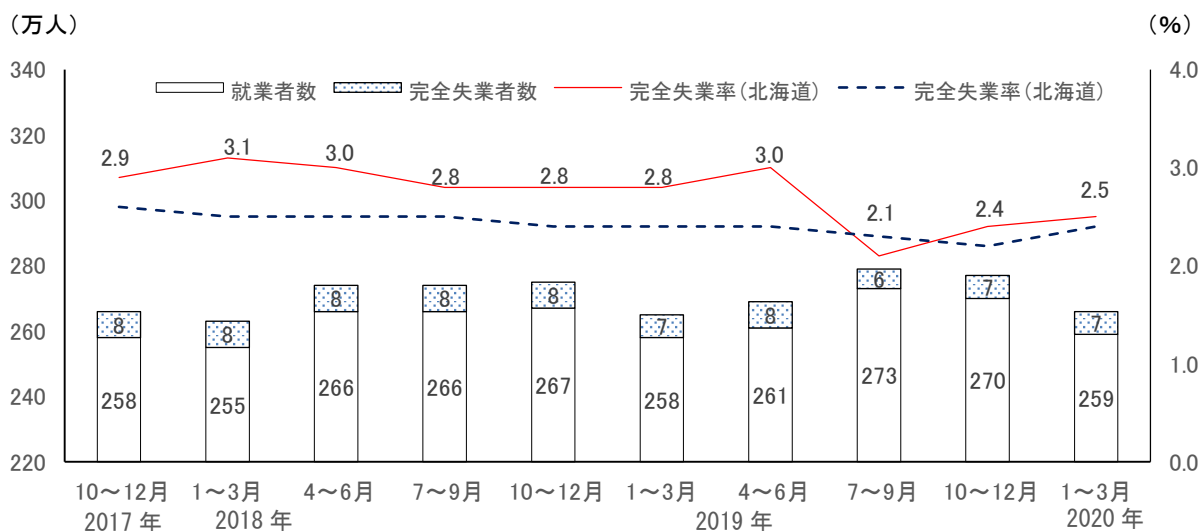
■各圏域の月間有効求人倍率（右軸は前年同月差）



(資料:北海道労働局)

完全失業者数、完全失業率（令和2年1月～3月）

完全失業者数は、前年同期と同数の7万人となっている。  
完全失業率は、2.5%で前年同期と比べ、0.3ポイント低下となっている。

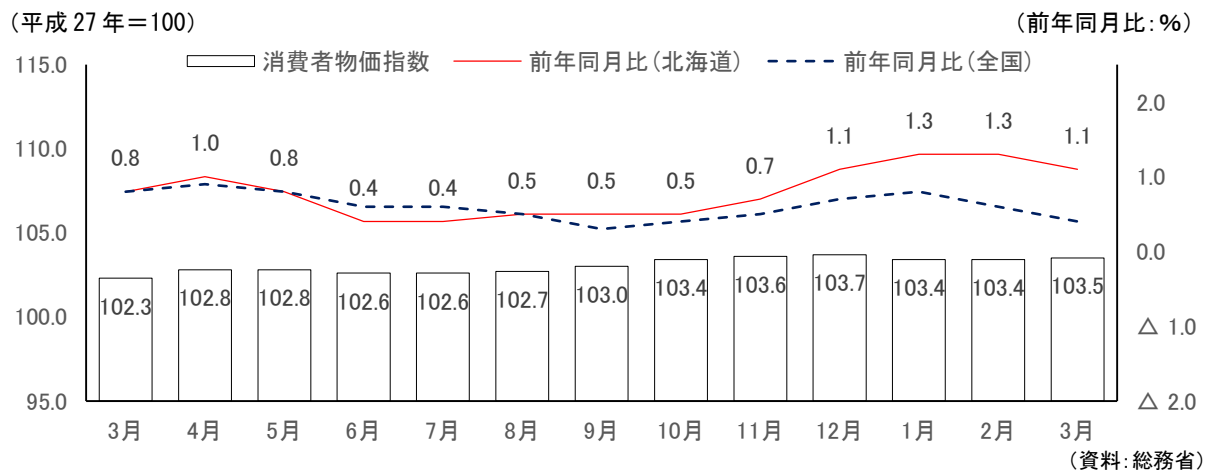


(資料:総務省)

## ■物価～消費者物価指数は前年を上回った

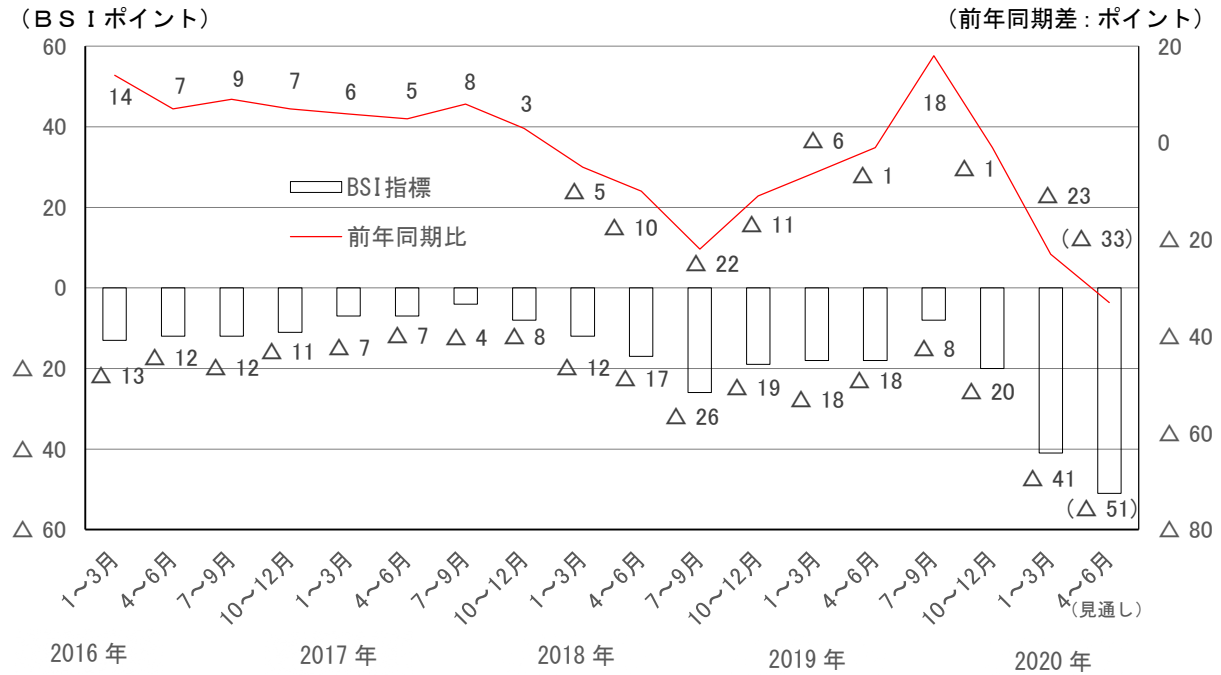
### 消費者物価指数（3月）

消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、103.5で前年同月比1.1%の上昇となり、40か月連続で前年を上回った。

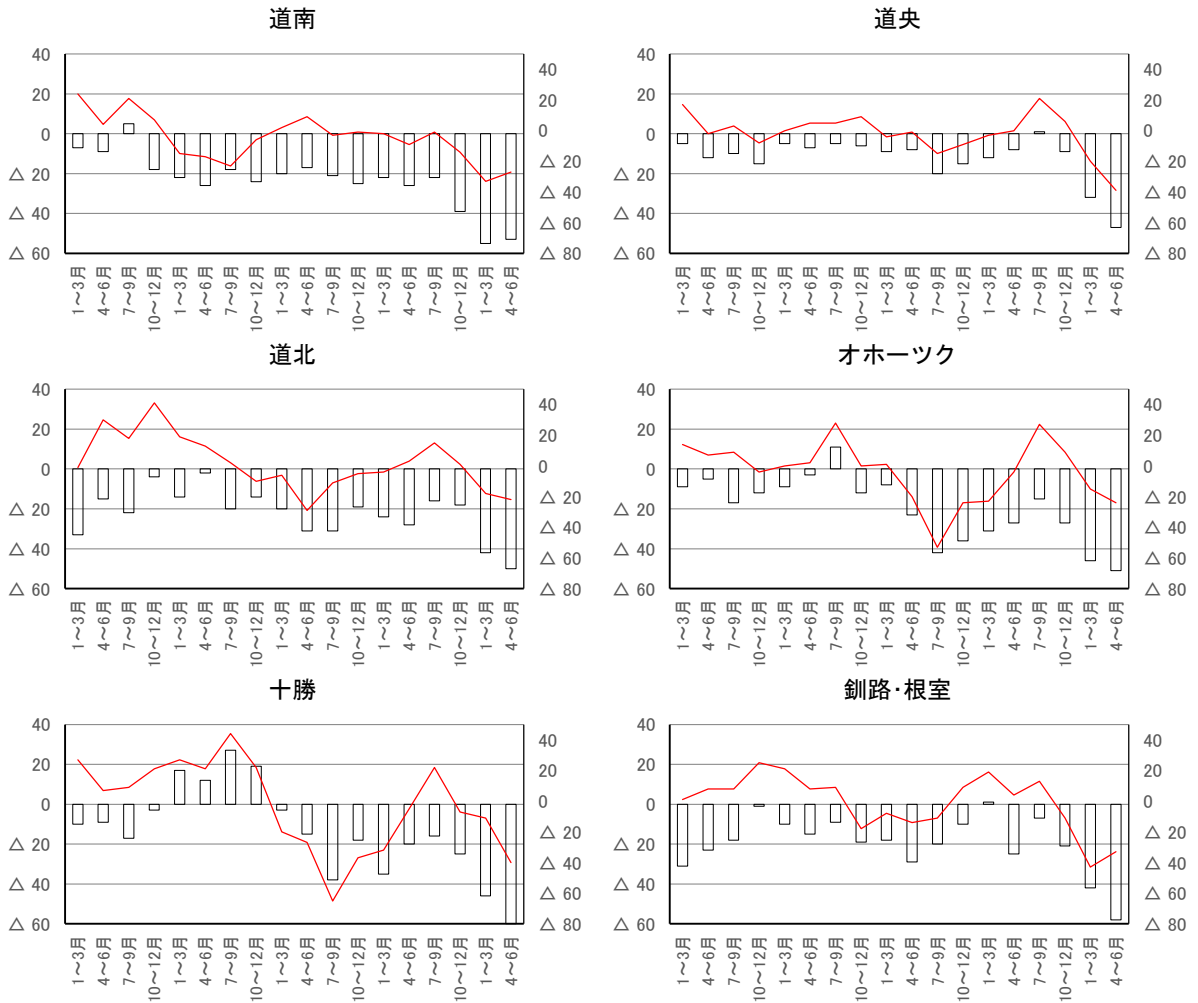


# ■企業経営者意識調査～前期から下降している

令和2年1～3月期の業況感BSIは△41で、前期から21ポイント下降しており、前年同期より23ポイント下降している。来期見通しは△51ポイントで、今期から10ポイント下降の見通しとなっている。



各圏域の業況感BSI (右軸：前年同期差)



(北海道経済部調べ)



## ■企業のみなさまから伺いました

### ◆百貨店（道央地域）

#### 【4月中旬以降の臨時休館により、売上は激減】

新型コロナウイルス感染防止に向け、4月中旬以降、当面の期間臨時休館を継続している。このため、4月の来客数は前年比でほぼ半減となり、売上も約3割にとどまった。5月は営業日がゼロとなっている。従業員は、原則自宅待機（公休扱い）し、事業継続に最低限必要な部署のみ、交代制で出勤対応している。

また、現時点では、売上以外での影響は顕在化していないが、今後、売上減少が更に長期化した場合は、取引先の倒産等の影響が懸念される。

### ◆スーパー（道央地域）

#### 【一層のまとめ買い傾向】

4月は、買い物の回数を減らしてまとめ買いをする傾向が一層強まっている。新型コロナウイルスに関する東京都知事の会見があった日に売上が増加するなど、感染症の拡大に連動して売上が伸びた。3密の防止のため、下旬からチラシの配布とポイントセールを自粛している。

#### 【自宅調理へのシフト】

デリカよりも野菜や肉などの素材の伸びが大きく、自宅調理が増加していると思われる。また、マスクやハンドソープに加え、ホットケーキ用の粉も欠品しがちになっている。品目別の動きから節約志向がうかがえる一方で、普段の食事よりも幅広いメニューを作ろうとしている様子もみられる。

### ◆コンビニエンスストア（道央地域）

#### 【引き続き来店客数は減少だが、売上は横ばい】

4月は、前月に引き続き出勤減や夜の外出自粛により来店客は減少したものの、1人当たりの売上点数は上昇した。巣ごもり傾向が強まる中、家庭内で消費されるものを中心に伸長し、お菓子・スイーツ・アイスなどの売上が増加した。また、栄養と消費拡大の呼びかけの効果のためか、乳製品が好調。

#### 【行楽需要は無し、酒類販売が好調】

大型連休期間中は、家の庭でバーベキューをするための炭などの用品やジンギスカンなどの需要があったが、行楽などの需要はほとんどなかった。新型コロナウイルス発生以降、酒類の売上が増加している。

## 最近の経済動向

令和2年5月号

---

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>